

(1)

学習用ブックリスト作成手順

[平成 22 年度「中学 1 年生・3 学期 日本の諸地域調べ」]

研究者（プロジェクト主査）、教員（授業者）、学校図書館員（学校司書）、公共図書館員（国際子ども図書館職員）の 4 者が協働する形で、教科学習に役立つ学習用ブックリストの作成・活用・評価を行った際の手順です。この手順は、『先生と司書が選んだ調べるための本』¹⁾での手順を準用しています。実際の作業は、平成 22 年 12 月から 23 年 2 月にかけて行いました。

No	作業事項	内容
0	事前準備	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 図書館員（学校図書館員、公共図書館員）は、教科書と学習指導要領を読んでおく。
1	授業者への授業構想インタビュー	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 図書館員が、教員に、ブックリストの対象となる教科単元の授業構想（授業目的・調べる方法・時間数・授業日程等）をインタビューする。[実際には、研究者と国際子ども図書館職員が、授業者へのインタビューを 2 回実施] ⇒ （別紙 参考 - 3）授業者への聞きどころ
2	ブックリスト選書用のキーワード案作成	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 図書館員が、教科書や学習指導要領を確認しながら、ブックリスト選書用のキーワード案を作成する。[実際には、国際子ども図書館職員が、学習指導要領等を見て、たたき台案を作成] ⇒ （別紙 参考 - 2）選書用キーワード
3	選書用キーワードの修正 選書用キーワードの確定	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 教員が、キーワード案の確認・修正をする。[実際には、2 のたたき台案を授業者、学校司書、研究者、国際子ども図書館職員が確認] ➤ 教員と図書館員とで確認しあいながら、キーワードを確定させる。図書館員は、これにより当該授業の学習ポイントを知ることができる。[実際には、一次選書後に授業者が最終版を作成] ⇒ （別紙 参考 - 2）選書用キーワード
4	一次選書	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 図書館員が、書誌検索ツール（NDL-OPAC*1、リサーチナビ*2 等）を活用して、3 のキーワードをもとに一次選書をする。[実際には、国際子ども図書館職員が一次選書リストを作成] <p>*1: http://opac.ndl.go.jp/index.html *2: http://rnavi.ndl.go.jp/rnavi/</p>

No	作業事項	内容
5	一次選書結果の検討	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 教員が、4 の結果を検討し、当該授業のための選書基準を明確化する。 [実際には、授業者、研究者、学校司書、国際子ども図書館職員とで現物を確認しながら検討] ⇒ (別紙 参考 - 1) 授業者の選書基準と授業概要 ⇒ (別紙 参考 - 3) 授業者への聞きどころ
6	二次選書	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 図書館員が、5 の結果を受けて、ブックリストを修正する。 [実際には、学校司書と国際子ども図書館職員とで追加資料を選び、ブックリストを修正]
7	資料集め	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 学校図書館員が、二次選書の結果をもとに資料を集める。 [実際には、学校司書が他の附属学校図書館や公共図書館等から資料を集める]
8	二次選書結果の検討 ⇒ブックリスト完成	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 教員が、資料現物を見ながら、6 の結果を確認する。 [実際には、授業者と学校司書が現物を見ながら確認] ⇒ (別紙 2) 学習用ブックリスト
(9)	(指導案作成)	<ul style="list-style-type: none"> ➤ (指導案を作成する場合は) 教員が、ブックリスト資料を用いた授業の指導案を作成する。 [実際には、指導案は作成しなかった]
10	授業実践	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 教員が、ブックリストの資料を用いて、授業を行う。 ➤ 学校図書館員が、授業現場で、生徒と本をつなぐ支援を行う。 <p>[実際には、平成 23 年 2 月に行われた授業に、学校司書が参加。ブックリスト資料を使用しない時間も含め、研究者と国際子ども図書館職員が見学]</p>
11	評価	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 10 の実践結果を受けて、教員と図書館員とで、授業支援方法やブックリストを評価する。 <p>[実際には、平成 23 年 2 月 26 日に、フィードバックミーティングとして実施]</p>

1) 鎌田和宏,中山美由紀編著. 先生と司書が選んだ調べるための本 : 小学校社会科で活用できる学校図書館コレクション. 東京, 少年写真新聞社, 2008, 159p.